

奥尻地域

指定基準	講評
<p>イ．当該地域マリンビジョンが、地域のポテンシャルを活かすとともに個性ある計画となっていること。</p>	<p>奥尻地域は「豊饒（たから）の島とともに生きる奥尻創造」をキャッチフレーズとして、全島一貫した資源管理型漁業の推進によるウニ・アワビを中心とした水産資源増産体制の構築を基本としつつ、地域産業の活性化を狙った水産加工業の振興、自然を活かした観光振興等が盛り込まれている。離島ならではの一体的な意識のもとに自らの地域資源を再確認しつつ作られており、地域として価値あるビジョンとなっている。</p>
<p>ロ．当該地域マリンビジョンが、独創性、先駆性、広域性のいずれかが認められるとともに、他地域モデルとして見込め、北海道マリンビジョン21の具現化に資する計画となっていること。</p>	<p>ビジョンは地域にとって有益なものとなっているものの、現段階において他地域を先導するような顕著なモデル性は見受けられない。</p> <p>奥尻ならではの他地域には無い形態の水産加工や観光を確立するために具体的、戦略的な取り組みがなされると将来的に独創的なビジョンとなる可能性があるため、地域の実態を踏まつつ、真に地域の活性化に資するビジョンとなることを期待したい。</p>
<p>ハ．当該地域マリンビジョンが、地域協議会の十分な議論・調整を踏まえた計画であること。また、地域マリンビジョン策定後であっても、適宜地域協議会において当該地域マリンビジョンの円滑な推進を図る計画となっていること。</p>	<p>多様な協議会参加者による十分な議論がなされた計画であると評価できる。特に、多様な参加者のもと分野を分けてワークショップ形式による活発な議論を行っており、地域での合意形成に工夫がなされ、ビジョンを推進していくための環境醸成もなされている。</p>
<p>ニ．当該地域マリンビジョンに位置付けられている拠点漁港が、北海道マリンビジョン21の趣旨に鑑み、計画において拠点漁港のいずれかに該当すること。</p>	<p>拠点漁港の青苗漁港はモデル性が確保されている。特に、青苗漁港は地域水産業を支える奥尻島最大の生産流通拠点であるが、大規模地震津波災害を教訓に、安心した漁業活動及び漁村生活を実現するため、これまで人工地盤整備を行ってきたほか、現在アワビ養殖支援の効果もある耐震岸壁の整備を行っているところであり、これらの基盤が地域マリンビジョンを実現する一助と期待されるほか、継続的なビジョン実現に向けた取り組みによって漁港の効用が最大限発揮されるものと考えられる。</p>
<p>ホ．地域マリンビジョンの実現に向けた取り組み内容が各実行主体ごとに明確になっているほか、それらの取り組みが地域において継続的に行われる等、地域マリンビジョン及び取組主体の熟度が認められること。</p>	<p>ビジョンの取り組みにある重点プロジェクトは、それぞれ出来るところから既に実行に移されている。本年より地元水産加工品を東京のアンテナショップで販売したり、奥尻島元祖三平汁研究会を立ち上げていたり、干しアワビを試行で製造したりする取り組みが始まっている。</p> <p>今後、美しい海からの安全な食品や漁師の味を持つ食品等特色のある水産加工業によって奥尻産品の魅力がさらに向上されることを期待するとともに、季節限定の特徴のある食の提供やウニの移植放流をダイビング体験で行わせるような奥尻独特の観光振興がなされることを期待したい。</p>